

令和8年度 ZEV車両購入補助金 4月30日から申請受付開始

東京都は、「2050年CO₂排出実質ゼロ」に貢献する「ゼロエミッション東京」の実現に向け、2030年までに都内で新車販売される乗用車を100%非ガソリン化することを目指し、ゼロエミッションビークル（ZEV：電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHEV）、燃料電池自動車（FCV））の普及を進めています。ZEVは、給電機能や再生可能エネルギーの利用により、HTT（電力をへらす・つくる・ためる）の推進や非常用電源での活用など、都市のレジリエンス向上にも有効です。令和8年度ZEV車両購入費補助は、令和8年4月30日（木）より開始します。

1 補助対象車両

国の補助金（クリーンエネルギー自動車導入促進補助金）の対象となるZEV

2 補助額（令和8年4月1日以降に初度登録又は初度検査された自動車）

自動車メーカー別の補助額において、給電機能の有無、ZEV乗用車の販売実績等や、車両ラインナップ数、GX実現に向けた取組状況等について評価し補助額を設定します。

さらに、購入者が再生可能エネルギーや充放電設備等の導入をした場合の上乗せを含め、補助額はEVで最大100万円となります。

	自動車メーカー別の補助額	再エネ・充放電設備等導入上乗せ
EV	最大60万円	+最大40万円
PHEV		+最大25万円
FCV	最大190万円	+最大35万円

詳細は、別紙参照

3 申請受付期間

令和8年4月30日（木）から令和9年3月31日（水）まで

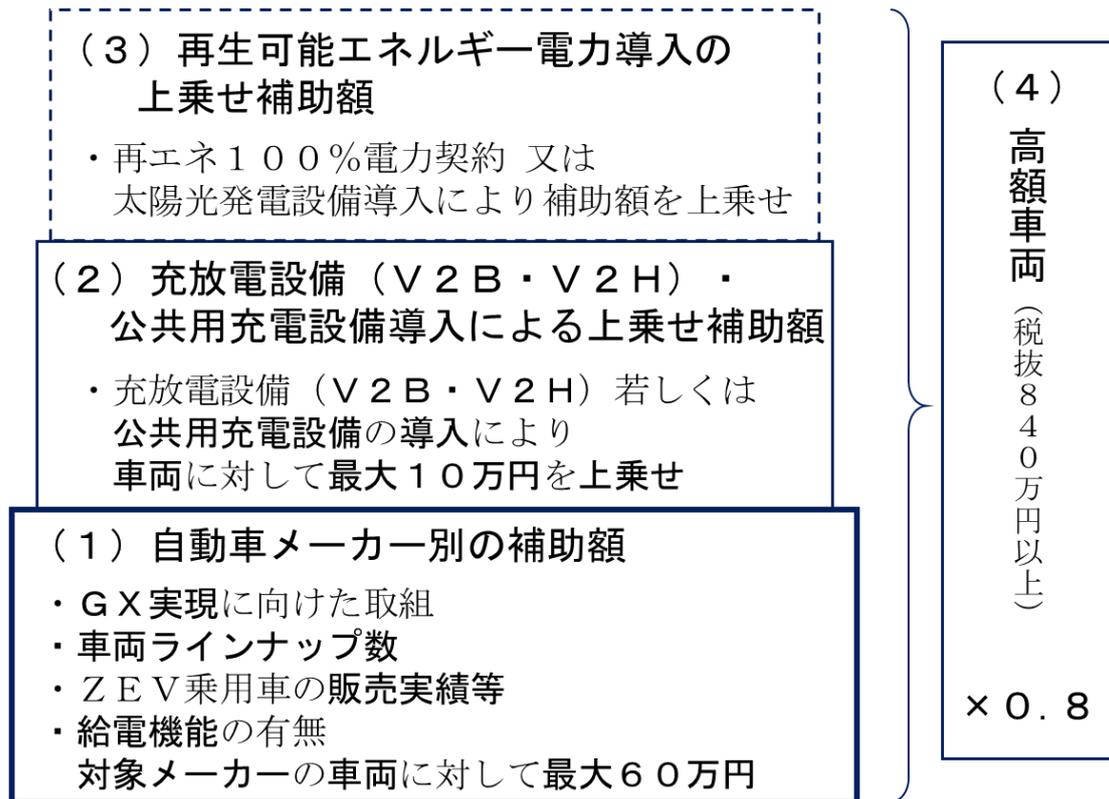
詳細が決まり次第、公益財団法人東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター（愛称：クール・ネット東京）のホームページでお知らせします。

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/ev/>



《別紙》 補助額の体系・内訳

1 体系図 (EV・PHEV)

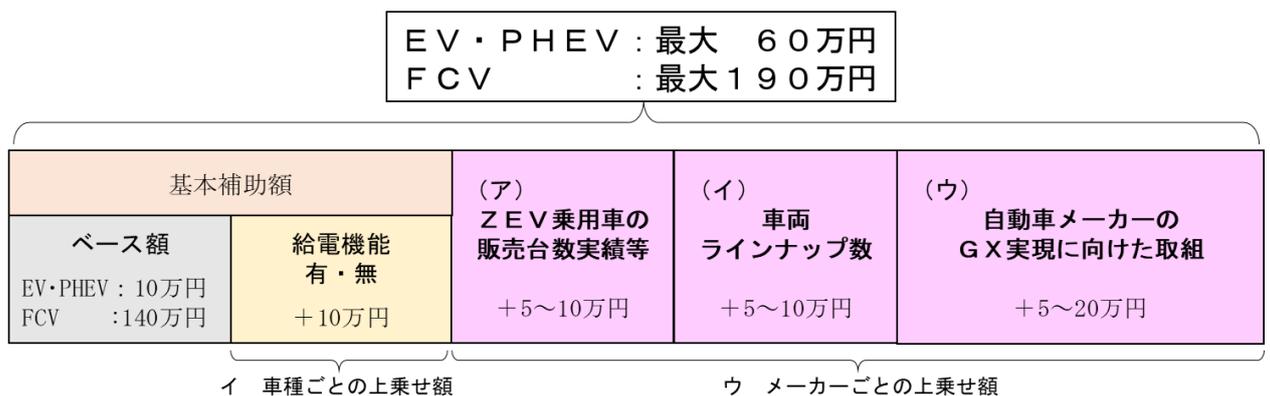


FCVも、これに準じる

2 内訳

(1) 自動車メーカー別の補助額

ア 補助額の構成



イ 車種ごとの上乗せ額

給電機能の有・無 (10万円)

給電機能※がある場合、補助額を10万円上乗せ

※外部給電器・V2H充放電設備を経由して又は車載コンセント(AC100V/1500W)から電力を取り出せる機能

ウ メーカーごとの上乗せ補助額

下記 URL の都庁総合ホームページ 報道発表（「令和 8 年度 Z E V の車両購入補助金のおしらせ」）にてご確認ください。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press>

(ア) Z E V 乗用車の販売実績等（最大 10 万円）

令和 7 年に、都内で Z E V 乗用車の新車を 60 台以上、非ガソリン乗用車※の新車を 300 台以上販売し、以下のいずれかの条件を満たしたメーカーについて

- ① Z E V 乗用車で一定の販売実績があること
 - ② 非ガソリン乗用車※で一定の販売実績があること
 - ③ 最も多くの台数の Z E V 乗用車を販売
 - ④ 対前年比 2 倍以上の台数の Z E V 乗用車を販売
- ①～④の 1 項目につき 5 万円、最大 10 万円

※非ガソリン乗用車：

Z E V 乗用車とハイブリッド乗用車（2020 年度燃費基準 20% 向上達成車以上）

(イ) 車両ラインナップ数（最大 10 万円）

令和 7 年末における非ガソリン乗用車※販売車両を 12 種類に分類し、該当する種類数が 7 種類以上の場合 10 万円、4～7 種類未満の場合 5 万円

(ウ) メーカーの G X 実現に向けた取組（最大 20 万円）

下記のメーカーの取組等を総合的に評価し、補助額を決定

- ① ユーザーが安心・安全に乗り続けられる環境構築
- ② ライフサイクル全体での持続可能性の確保
- ③ 自動車の活用を通じた他分野への貢献

(2) 充放電設備（V 2 B・V 2 H）・公共用充電設備導入による上乗せ補助額

Z E V 用の充放電設備（V 2 B・V 2 H）若しくは事業者が公共用充電設備を導入する場合には、補助額を上乗せします。

	補助対象者	上乗せ額
E V・P H E V F C V	事業者・個人	充放電設備 1 口と対になる 補助対象車両 1 台 1 0 万円
E V・P H E V	事業者	公共用普通充電設備 1 口と対になる 補助対象車両 1 台 5 万円
		公共用急速・超急速充電設備 1 口と対になる 補助対象車両 1 台 1 0 万円

上乗せ補助は、1 台につき上記のいずれかを選択

※V 2 B・V 2 H：Vehicle to Building・Vehicle to Home の略。Z E V に搭載された蓄電池から建物（Building）・家庭（Home）に電力を供給できる設備で、非常時等にも活用が可能

(3) 再生可能エネルギー電力導入による上乗せ補助額

再生可能エネルギー電力を導入している場合、次のいずれかの補助額を上乗せします。

	再エネ 100%電力契約	太陽光発電設備設置
EV	15万円	30万円
PHEV	15万円	15万円
FCV	25万円	25万円

上乗せ補助は、再エネ 100%電力契約か太陽光発電設備設置の、どちらかを選択

(4) 高額車両における補助額

高額車両（税抜 840 万円以上）については、(1) から (3) までの合計額に 0.8 を乗じた額を補助額とします。

【関連ページ】

■ 都庁総合ホームページ 報道発表

・ <https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press>

（お問合せ先については上記 URL の報道発表から「令和 8 年度 ZEV の車両購入補助金のお知らせ」をご確認ください。）